

BS12ch TwellV 「桂雀々の大判小判がじゃくじゃく～BS12お宝噺～」 (2月マンスリーゲスト：佐渡裕 毎週土曜よる8時)

世界的指揮者・佐渡裕がリコーダーでアニメ曲を演奏！？ 上方落語の人気者・桂雀々も負けじとクラシック指揮に挑戦！

全国無料放送のBS12ch TwellVで放送中の『桂雀々の大判小判がじゃくじゃく』（毎週土曜よる8時）に、このたび2月放送分ゲストとして指揮者の佐渡裕が出演します。ここでしか聞けない話、見れない姿が満載ですのでお見逃しなく！

1. 番組概要：

2011年に芸歴35周年を迎え、一念発起して大阪から東京に進出してきた異能の落語家・桂雀々。「桂雀々の大判小判がじゃくじゃく～BS12お宝噺～」は、その東京でのレギュラー番組として、2013年春より放送開始。2015年、今までのロケ取材から観客の前で収録するトークショー形式へと進化！収録スタジオを桂雀々の定席、「すずめ座」に見立て、落語の要素をたっぷりと盛り込んだ番組独自の空間に、桂雀々の気心の知れた文化人ならびに有名人たちをゲストとして呼びびます。ゲストのパフォーマンス披露や、各トークテーマをもとに噺家・桂雀々として、また友人ならではのゲストの素顔に迫るお話をお聞きしてまいります。番組ウェブサイト <http://www.twellv.co.jp/event/jak2/>
番組facebook <http://www.facebook.com/jak2okj2>



©BS12ch TwellV

#69 佐渡裕さん Part1 (2月7日放送、2月21日再放送)

#70 佐渡裕さん Part2 (2月14日放送、2月28日再放送)

京都生まれで大の落語好きだという佐渡。雀々の師匠である桂枝雀の大ファンだったことが縁で知り合った二人はおよそ20年来のつき合いになり、一緒にゴルフにも行く間柄だという。トークでは佐渡が指揮者を目指したきっかけや、指揮者としてのこだわり、佐渡の師匠であるバーンスタインの思い出、枝雀と佐渡のクラシックを通じた意外なつながりといったクラシックにまつわる話を披露。それだけでなく、佐渡が好物であるカツカレーについて熱く語ったり、特技であるリコーダーを2本同時にくわえての演奏やアニメ『タイガーマスク』のテーマを即興で披露したり、佐渡が5歳になる愛娘とピアノ発表会で連弾をしたエピソードを紹介したりと、ここでしか聞けない話、見れない姿が満載。

さらには、佐渡の指導で雀々がクラシック音楽に合わせて指揮に挑戦するひと幕も。「指揮の一番のポイントは『どう立つか』』と語る佐渡が、雀々に美しく見える立ち方を伝授。はたしてタクトを握った雀々の指揮ぶりやいかに…？

2. 出演者コメント：

◆桂雀々

やっぱり世界の佐渡裕さんですから、僕のテンションも上がりました(笑)。でも、あれだけの方なのにまったく偉ぶらず、同じ関西で生まれ育った友だちのような感覚で気さくに接してくれるのがとても嬉しかったですね。ジャンルは違えど一つのことのにめり込む姿は自分の師匠(桂枝雀)と似てる部分があるとも言えるかもしれません。貫禄もオーラもあって、われわれ落語家にはない世界の空気を感じましたね。これを機に、いつかぜひ落語とオーケストラのコラボをやりたいですね。番組ではこれからもいろいろなジャンルで活躍しているさまざまな有名人の方に来ていただき、その方が持っているこだわりについてざっくばらんに話してもらいたいです。

◆佐渡裕

雀々さんのクラシック指揮者の素質は……。う～ん、全くないでしょう(笑)

その場の空気を読まれることにとっても長けてらっしゃるのは指揮者に向いてるとは言えるのですが、団員が指揮者に合わせるのであって、指揮者が団員に合わせるわけではないからです。だから、雀々さんが「運命」を指揮したらフニャフニャになりそう(笑)

雀々さんはベースを大阪から東京に移され、こうして御自身の番組をもたれて頑張ってるな～と思いました！常に人を笑わせて、人を幸せな気分にする。大変な仕事だと思いますが、持ち前の明るさとバイタリティーをいかし、そして枝雀さんからの教え、あの芸風をしっかり和継承されてたくさんの人に幸せを届けてください！